

5.15 沖縄平和行進参加報告書

東北地方塩竈支部塩竈分会 塩野 雅人

今回、沖縄平和行進に初めて参加しました。今年は沖縄が日本に復帰して50年という節目の年で沖縄の人達にとって、特にアメリカが統治していた時代を知っている世代の方ほど5月15日は特別な日という、意識が強いことを実感しました。私は大戦以降沖縄がアメリカの統治下にあったことは知っていましたが、沖縄に米軍基地があっても身近に感じることができませんでした。

平和行進では、約9キロの行進でしたが地元の方からの応援を貰うことが多く、私達の活動に期待をしてくれていることを肌で感じることができました。

沖縄は本土復帰後も米軍関連施設がたくさんあり、空を当たり前のように戦闘機が飛んでいて、これらの騒音や事故のリスクが常にあることを知りました。米軍の人が事件を起こしたりする治安問題もあります。

また、新たな基地を作ろうと辺野古の海を埋め立てて作る計画もあります。ニュース等ではよく見聞きしていましたが、「自分には関係ない」と無関心でした。視察で実際に自分の目でみると考えが大きく変わり、沖縄の人達の事を思うと他人事には思えなくなりました。

沖縄から米軍基地が無くなるには世界が平和にならないといけないと思います。地理的にも有事の際、最初に脅威が訪れるのはまた沖縄になってしまうことは逃れられないと思います。沖縄にたくさんの米軍基地がありますが、アメリカが助けてくれるとは限りません。今の時代にロシア、ウクライナの戦争が起きている以上は日本も戦争と無関係とは言えません。日本も他国との領土問題が多くあるため進攻されるリスクがあります。このような問題は難しいですが平和的に解決していき、全ての国が武力を持たなくて良い日が来るまで平和行進を続けていくことが大事だと思いました。

今回参加して自分の考えや意識が変わり、充実した貴重が体験できました。静かな空の沖縄、綺麗な珊瑚礁の海であってほしいと思うので、多くの人に呼び掛け、多くの人に参加してもらって、基地問題に対して真剣に取り組んでいきたいです。